

2022年3月期 第3四半期 決算概要

2022年2月10日
シスメックス株式会社

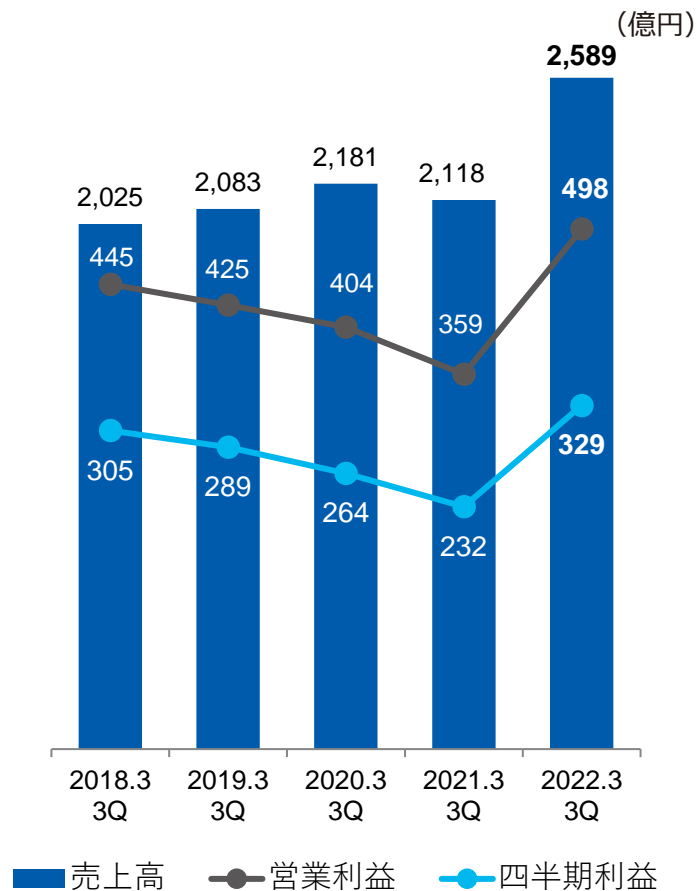
Index

2022年3月期 第3四半期 決算概要

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

決算総括（対前年同期）



(億円)	2022年3月期 3Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	2,589.0	100%	2,118.4	100%	122.2%
売上原価	1,215.2	46.9%	1,032.4	48.7%	117.7%
販売費及び一般管理費	672.5	26.0%	582.0	27.5%	115.6%
研究開発費	183.1	7.1%	152.7	7.2%	119.9%
その他の営業損益	△19.3	△0.7%	7.8	0.4%	-
営業利益	498.7	19.3%	359.0	16.9%	138.9%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	329.0	12.7%	232.8	11.0%	141.3%

- **売上高** 検査需要の回復などによる試薬売上の伸長に加え、為替影響（円安）もあり、大幅増収
- **営業利益** 販管費等は増加するも、増収による粗利増加および原価率の改善などにより、大幅増益
 - **為替の影響** 売上高 +153.0億円 営業利益 +52.6億円
 - **前年同期為替レート適用の場合** 売上高 115.0% 営業利益 124.2%
- **四半期利益** 営業利益の増加および為替差損益の改善により、増益
 - **為替差損益** +4.4億円（前年同期△6.4億円）

	2022年3月期3Q	前年同期
1USD	111.1円	106.1円
1EUR	130.6円	122.4円
1CNY	17.3円	15.4円

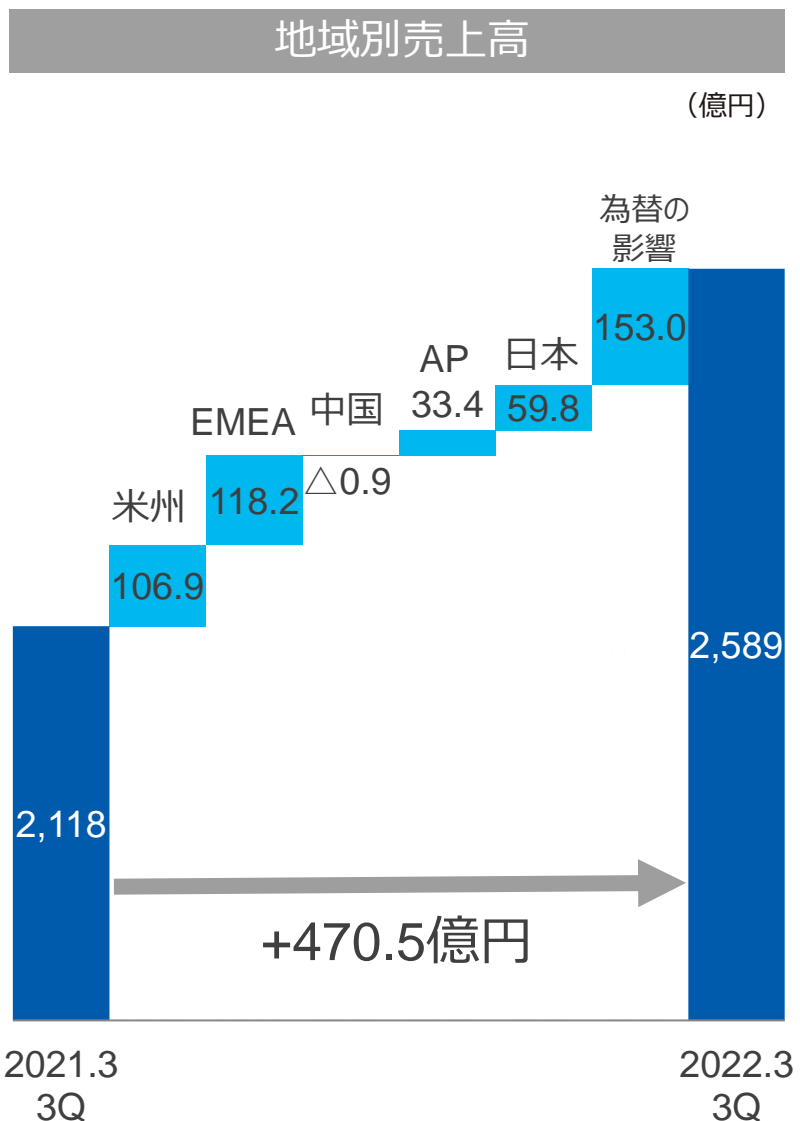
単四半期業績推移



COVID-19影響から回復基調であった前期3Qに対し、売上高は二桁伸長も、一時的な損失計上などにより、その他営業費用が増加し、営業利益は微増

	1Q (4月-6月)			2Q (7月-9月)			3Q (10月-12月) (億円)		
	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
売上高	793.6	100.0%	131.2%	893.9	100.0%	124.9%	901.4	100.0%	113.0%
売上原価	374.7	47.2%	125.4%	414.5	46.4%	118.8%	425.9	47.2%	110.8%
販売費及び 一般管理費	215.0	27.1%	113.6%	225.6	25.2%	117.8%	231.9	25.7%	115.2%
研究開発費	54.9	6.9%	111.8%	61.1	6.8%	126.5%	67.0	7.4%	121.4%
その他の営業損益	1.6	0.2%	92.4%	△5.9	△0.7%	—	△15.0	△1.7%	—
営業利益	150.5	19.0%	216.3%	186.5	20.9%	143.0%	161.5	17.9%	101.6%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	99.9	12.6%	222.7%	122.5	13.7%	150.0%	106.5	11.8%	100.2%

売上高の増減要因（地域別）

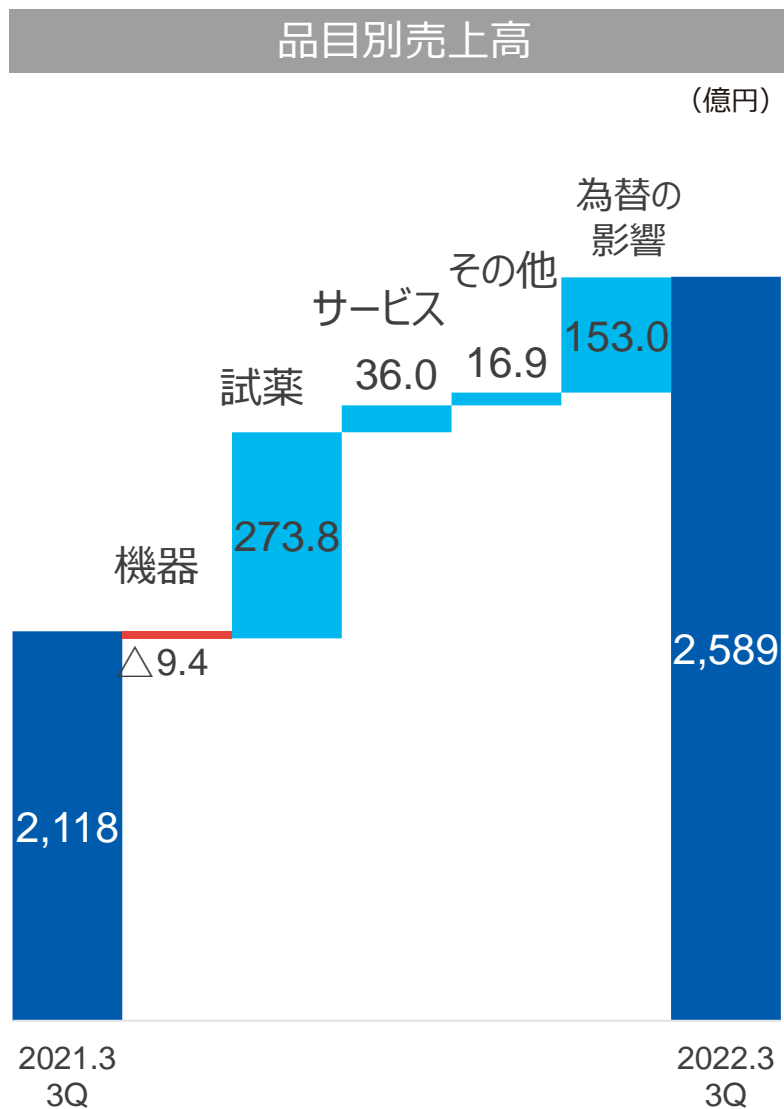


主にヘマトロジー試薬の売上伸長により、
現地通貨ベースにて、中国を除き二桁伸長を達成

(億円)	2022年3月期 3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	2,589.0	100.0%	122.2%	115.0% [※]
米州	592.7	22.9%	129.9%	123.9%
EMEA	761.8	29.4%	127.8%	119.9%
中国	627.9	24.3%	111.3%	100.0%
AP	213.6	8.3%	126.2%	119.7% [※]
日本	392.8	15.1%	118.0%	-

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

売上高の増減要因（品目別）



● 機器：

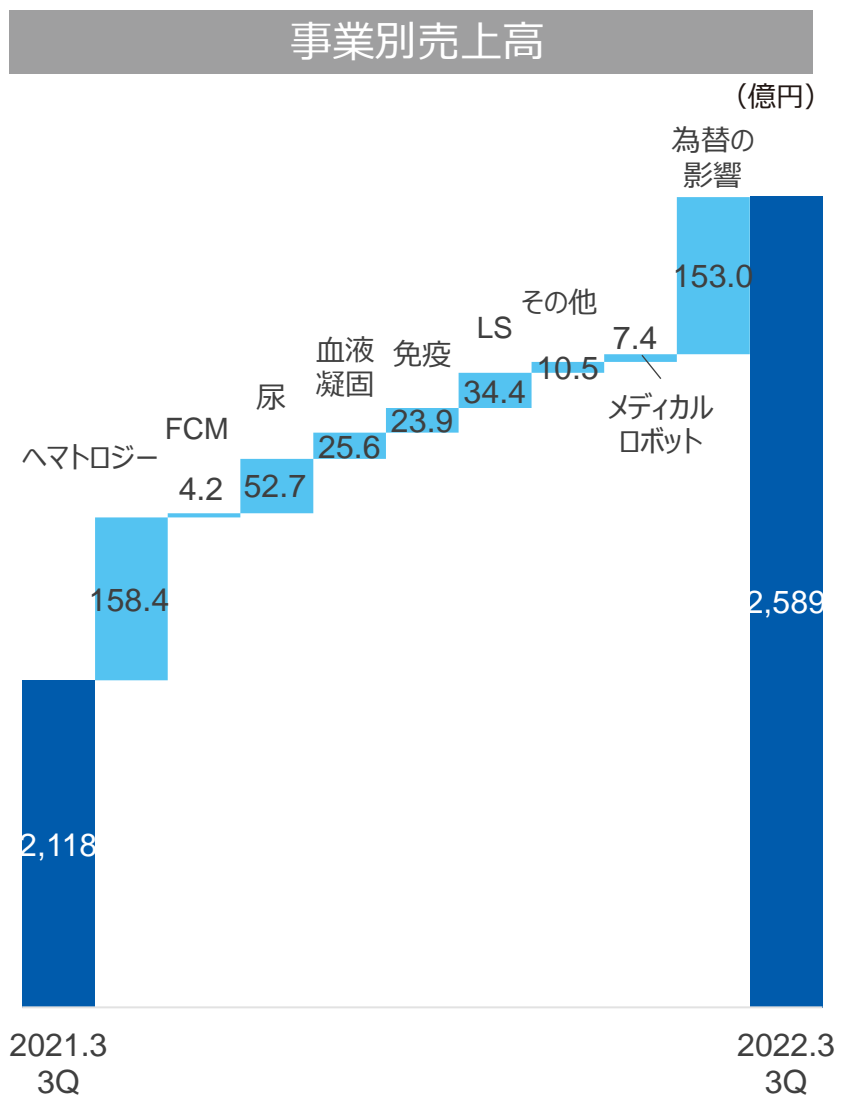
- 米州を中心に好調に推移するも、中国において前年同期のCOVID-19関連需要増の反動および代理店の購入延期などにより、減収

● 試薬：

- 検査需要の回復により、ヘマトロジー分野が大幅に伸長し、増収
- COVID-19関連検査の需要増加により、血液凝固・免疫・ライフサイエンス分野が伸長し、増収

(億円)	2022年3月期 3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
機器	591.1	22.8%	104.5%	98.3%
試薬	1,568.0	60.6%	130.8%	122.8%
サービス・その他	429.8	16.6%	121.6%	115.0%

売上高の増減要因（事業別）

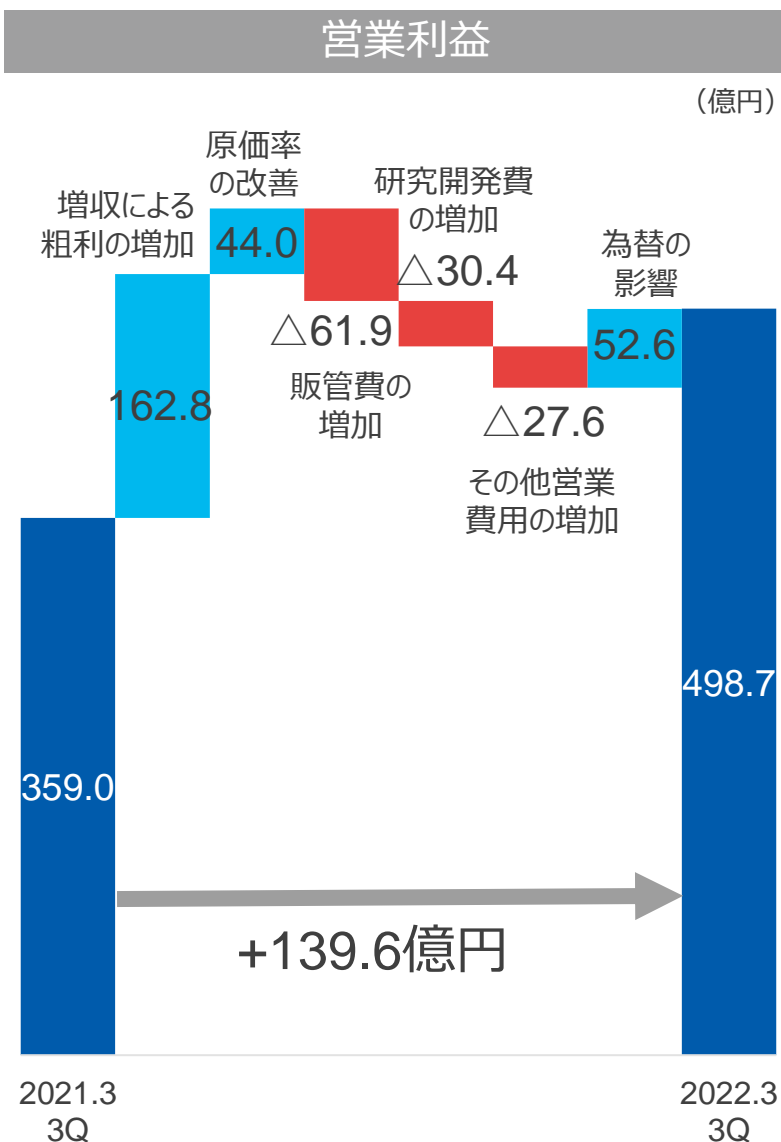


検査需要の回復に加え、直接販売エリアの伸長、北米の尿分野伸長などにより、全分野で増収

(億円)	2022年3月期 3Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	2,589.0	100.0%	122.2%	115.0%
ヘマトロジー	1,518.3	58.6%	119.2%	112.4%
FCM	14.4	0.6%	154.9%	145.9%
尿	207.9	8.0%	146.9%	137.3%
血液凝固	435.8	16.8%	114.8%	106.8%
免疫	137.2	5.3%	130.3%	122.7%
生化学	22.4	0.9%	112.3%	107.5%
ライフサイエンス	125.6	4.9%	148.2%	140.6%
その他	119.4	4.6%	114.7%	108.7%
ダイアグノスティクス事業	2,581.5	99.7%	121.9%	114.6%
メディカルロボット事業	7.4	0.3%	-	-

営業利益の増減要因

※下記数値・コメントは為替の影響を除く



- 増収による粗利の増加：162.8億円
- 原価率改善による影響：44.0億円（1.8pt 改善）
 - ・ 輸送費高騰など悪化要因はあるも、試薬売上の構成比および原価率の低い製品の構成比の増加などにより、改善
- 販売管理費の増加：61.9億円
 - ・ 各地域の販売・サービス活動再開および直販体制強化などによる経費増加
 - ・ デジタル化やMR事業関連費用の増加
- 研究開発費の増加：30.4億円
 - ・ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
- その他営業費用の増加：27.6億円
 - ・ 外部委託倉庫の火災に伴う一時費用
 - ・ 無形資産の減損
- 為替の影響：52.6億円のプラス影響

ダイアグノスティクス事業

- 当社の研究開発センター内にPCR検査ラボラトリーを移転、機能拡充（日本：5月）
- COVID-19の重症化リスク判定補助として、TARC測定キットの適応追加承認取得（日本：6月）
- **免疫分野の試薬15項目（腫瘍マーカーなど）を販売開始（中国：12月）**
- **尿分野機器（ノックダウン生産方式）の薬事承認取得（中国：12月）**
- **脳内アミロイドβの蓄積状態の把握を補助する検査試薬の製造販売承認申請を完了（日本：12月）**

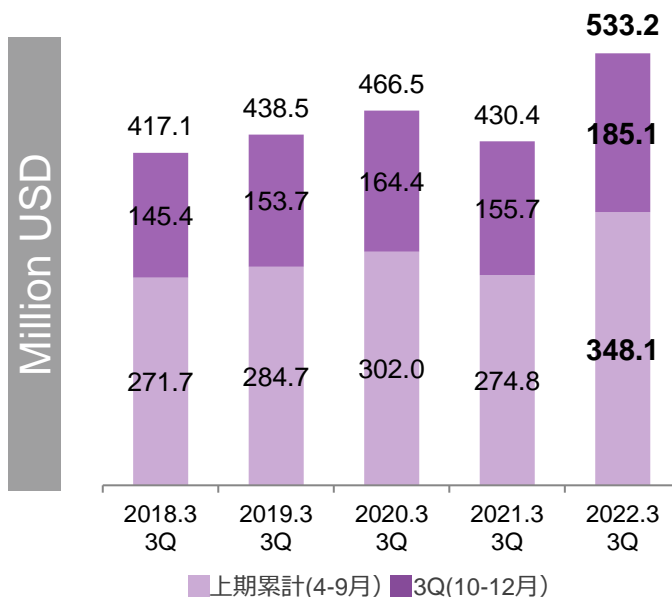
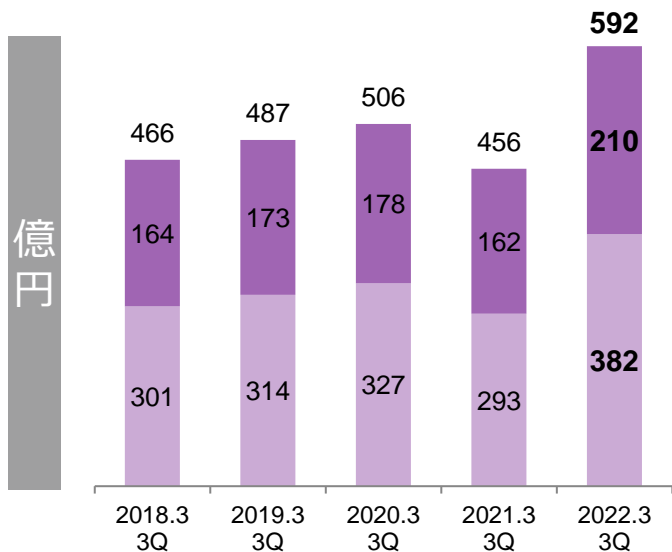
メディカルロボット事業

- **手術支援ロボットシステムの婦人科、消化器科への適応拡大申請を完了（日本：10月）**

その他

- **ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスに6年連続選定（11月）**
- **ヤマトグループとドライアイスフリーによるマイナス70度超低温帯輸送（遺伝子検査用試薬）を開始（日本：12月）**

売上高

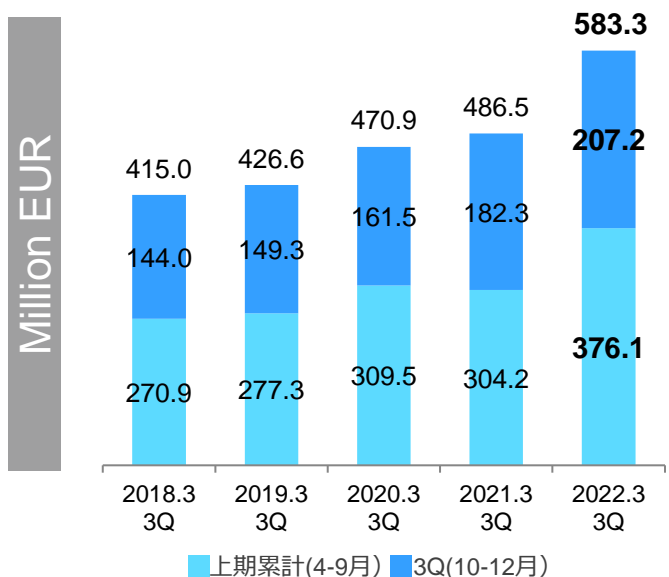
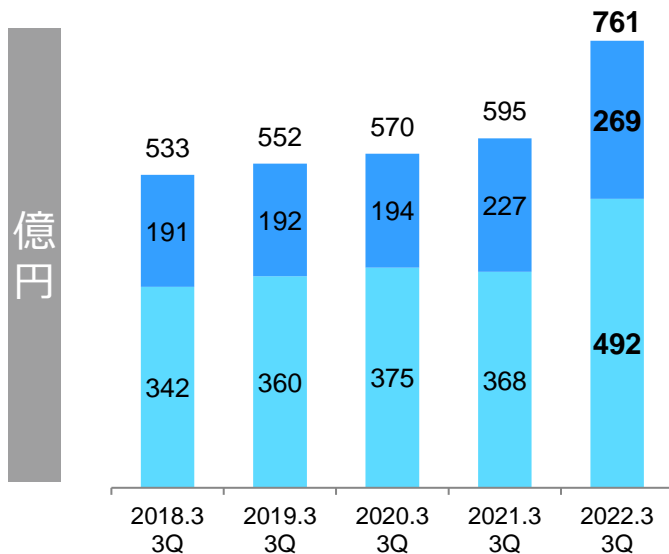


(億円)	2022年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	592.7	456.3	129.9%	123.9%
機器	155.3	115.4	134.6%	128.4%
試薬	276.0	211.6	130.4%	124.3%
サービス・その他	161.3	129.2	124.8%	119.1%

COVID-19影響からの回復により、ヘマトロジー分野が好調に推移したことに加え、北米における尿分野の伸長もあり、増収

- 機器：ヘマトロジー分野が好調に推移したほか、北米におけるシーメンス社との協業による尿分野の伸長もあり、増収
- 試薬：COVID-19影響からの回復によるヘマトロジー分野および北米の尿分野が伸長し、増収

売上高



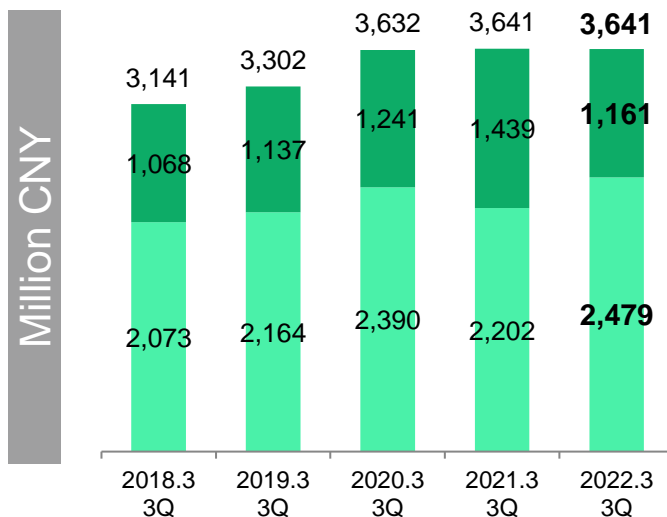
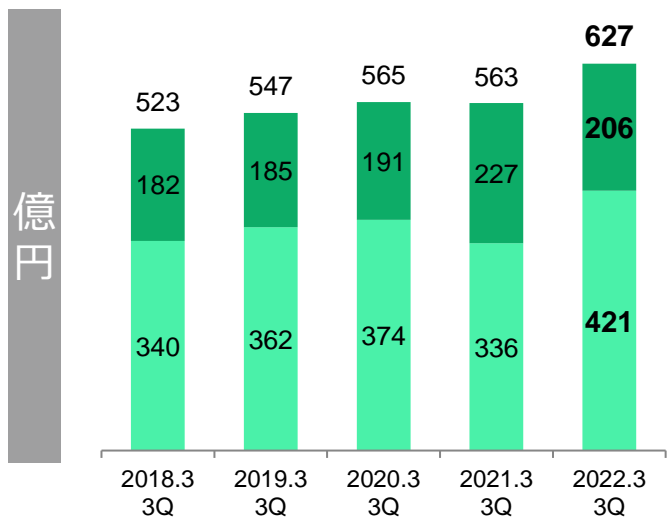
(億円)	2022年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	761.8	595.8	127.8%	119.9%
機器	191.9	174.4	110.1%	103.0%
試薬	448.6	324.7	138.2%	129.7%
サービス・その他	121.1	96.7	125.3%	117.5%

機器売上が堅調に推移したことに加え、検査需要回復などにより、試薬売上が伸長し、増収

- 機器：医療インフラへの投資が活発なロシアや東欧などにおいて、入札案件を獲得するなど、ヘマトロジー・尿・血液凝固分野を中心に伸長し、増収
- 試薬：COVID-19影響からの回復によるヘマトロジー・尿・ライフサイエンス分野の伸長に加え、ロシアなどで血液凝固分野の伸長もあり、増収

中国（地域別）

売上高



■ 上期累計(4-9月) ■ 3Q(10-12月)

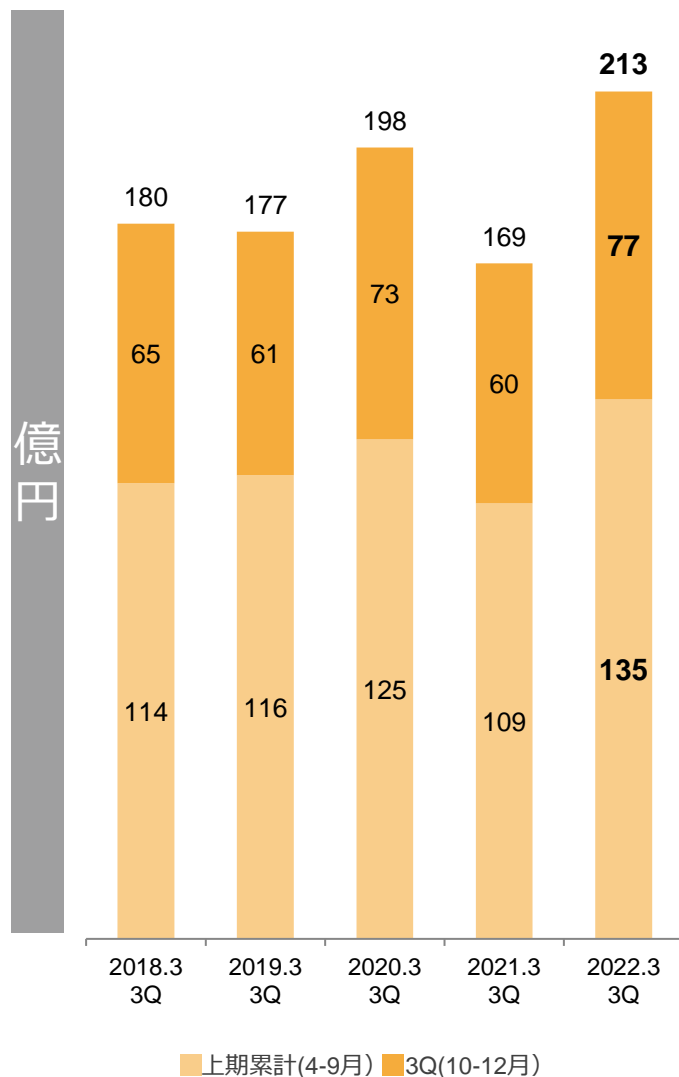
(億円)

	2022年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	627.9	563.9	111.3%	100.0%
機器	131.8	179.9	73.3%	66.0%
試薬	431.0	329.5	130.8%	117.4%
サービス・その他	65.0	54.4	119.5%	107.1%

機器売上が減収するも、COVID-19影響からの回復などにより、試薬売上が好調に推移し、増収

- 機器：前年同期に需要が高かった尿・血液凝固・免疫分野の反動および購入延期や一部代理店の不振などにより、減収
- 試薬：COVID-19影響からの回復や、前期に機器設置が進んだことなどにより、ヘマトロジー・血液凝固・免疫分野を中心に好調に推移し、増収

売上高



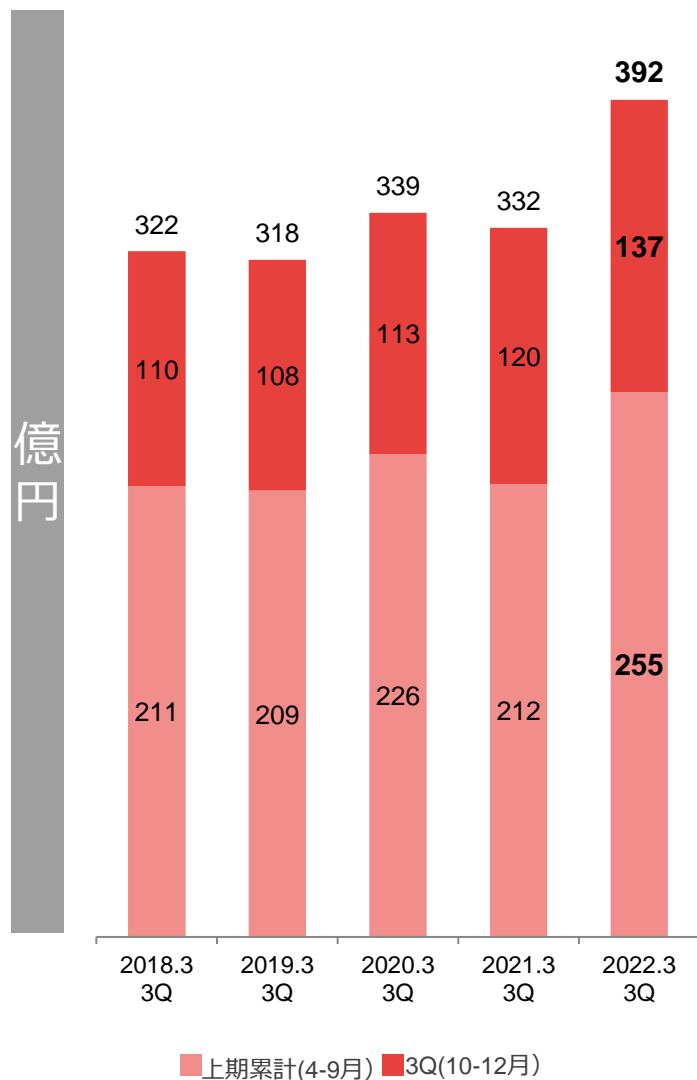
(億円)	2022年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	213.6	169.3	126.2% (119.7)
機器	49.0	40.7	120.4%
試薬	146.5	113.9	128.6%
サービス・その他	18.0	14.5	123.5%

()は為替の影響を除いた場合

COVID-19影響からの回復により、全分野において機器および試薬売上が二桁伸長し、増収

- 機器：インドやタイなどでヘマトロジー分野および血液凝固分野を中心に好調に推移し、増収
- 試薬：検査需要が回復したインドやインドネシア、韓国などを中心に全分野で伸長し、増収

売上高



(億円)	2022年3月期 3Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	392.8	332.9	118.0%
ダイアグノスティクス事業	385.3	332.8	115.8%
機器	56.2	55.2	101.8%
試薬	265.5	219.3	121.1%
サービス・その他	63.5	58.2	109.0%
メディカルロボット事業	7.4*	-	-

COVID-19関連検査の需要増加に伴い機器、試薬の売上が伸長し、増収

- **ダイアグノスティクス事業**
 機器：COVID-19関連検査の需要増加に伴い、血液凝固・免疫分野の売上が伸長し、増収
 試薬：抗原検査・重症化予測などの需要増加に伴う免疫・血液凝固分野の伸長に加え、PCR検査の増加によりライフサイエンス分野も伸長し、増収
- **メディカルロボット事業**：販売開始以来の累計導入台数11台

* 販売スキームは多様なため、導入台数と売上高実績は比例いたしません。

2022年3月期 連結業績予想

売上高 **3,600億円**

営業利益 **660億円**

営業利益率 **18.3%**

親会社の所有者に帰属する当期利益 **440億円**

当期利益率 **12.2%**

投資計画

設備投資 **390億円**
(有形、無形含む)

減価償却費 **295億円**

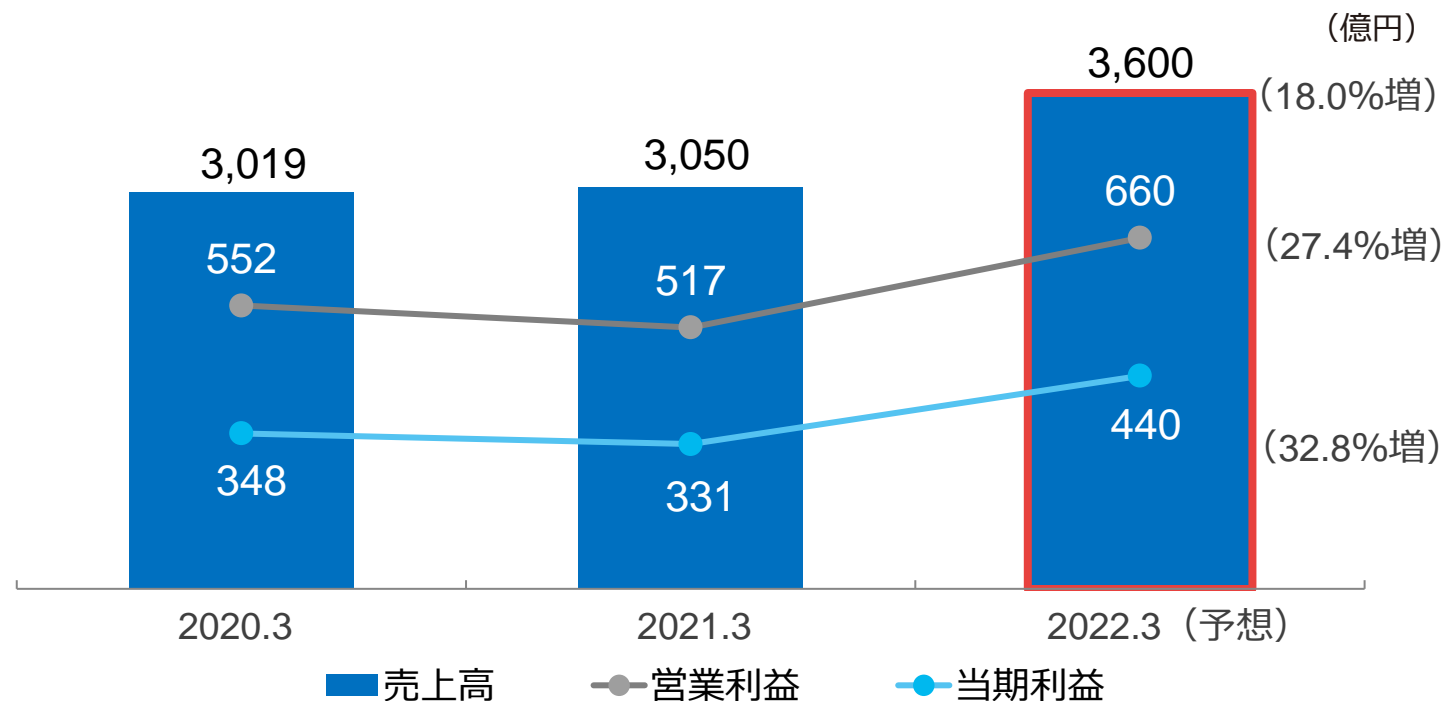
研究開発費 **265億円**

● 想定為替レート

	通期想定 (2021年11月修正)	下期 (2021年11月修正)	前期実績 (21年3月期)
1 USD	110.9円	112.0円	106.1円
1 EUR	130.5円	130.0円	123.7円
1 CNY	17.0円	17.0円	15.7円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.8億円	1.8億円
EUR	5.1億円	1.6億円
CNY	58.8億円	45.3億円



(補足資料)

3Q単四半期実績（対前年同期）

前年同期に対して販管費・研究開発費は増加するも
増収による粗利増加などにより、増益

	2022年3月期3Q (10月-12月)			2021年3月期3Q (10月-12月)		(億円)
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	
売上高	901.4	100.0%	113.0%	797.6	100.0%	
売上原価	425.9	47.2%	110.8%	384.5	48.2%	
販売費及び 一般管理費	231.9	25.7%	115.2%	201.2	25.2%	
研究開発費	67.0	7.4%	121.4%	55.2	6.9%	
その他の営業損益	△15.0	△1.7%	-	2.3	0.3%	
営業利益	161.5	17.9%	101.6%	159.0	19.9%	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	106.5	11.8%	100.2%	106.3	13.3%	

所在地別実績（売上高・営業利益）



（億円）

		2022年3月期 3Q	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	558.4	424.0	131.7%	125.6%
	営業利益	29.5	9.5	308.0%	289.3%
EMEA	外部売上高	769.3	601.4	127.9%	120.0%
	営業利益	121.7	75.0	162.2%	152.9%
中国	外部売上高	627.3	563.1	111.4%	100.0%
	営業利益	73.8	30.5	242.1%	218.8%
AP	外部売上高	212.0	168.3	126.0%	-
	営業利益	29.9	17.2	173.6%	-
日本※	外部売上高	421.7	361.5	116.6%	-
	営業利益	276.3	217.8	126.9%	-

※IDEXX社等含む外部売上高

Lighting the way **with diagnostics**